

事務事業名	市商工会活動支援事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6158					
	☐ 実施計画事業		所属課室	観光商工課		課長名	塚原浩二					
			所属担当	商工担当		担当者名	今沢静子					
基本政策	基本計画	Ⅱ	にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	計画	08	商工業の振興	事業区分	01	一般	07	01	01	02	05	
施策	体系	14	商業の振興		☐ 国の制度による義務的事業	☐ 施設等維持管理事業						
					☐ 県の制度による義務的事業	☐ 補助金交付事業						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	南アルプス市商工会事業費補助金交付要綱							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)								
	商工業者の振興及び育成に資すると認めた事務、又は事業に対して補助金を交付する。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)								
	・交付対象経費: 商工会が実施する経営普及事業、一般事業及びその他の事業			補助金 18,820								
	・交付割合: 経営普及事業 補助対象経費の40%以内の額											
	一般事業 補助対象経費の50%以内の額			計 18,820								

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	・経営改善普及事業・・・経営指導員相談指導(巡回、窓口) 一般事業・・・若手経営者活動事業、経営対策事業など
23年度活動予定	・経営改善普及事業・・・経営指導員相談指導(巡回、窓口) 一般事業・・・若手経営者活動事業、経営対策事業など
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
商工会員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
商工業者の経営安定	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
商工業者の経営安定や事業拡大は市内雇用の創出を図り、定住化の促進になる。	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 会員数	数
イ	
ウ	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 商工会員	数
イ	
ウ	
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 経営安定の商工業者	数
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 経営安定の商工業者	数
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	19,811	18,820	18,444	18,444	18,444	
	事業費計 (A)		千円	19,811	18,820	18,444	18,444	18,444	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		人件費計 (B)	千円	4,461	4,461	3,962	3,962	3,962	0
	(A)+(B)		千円	24,272	23,281	22,406	22,406	22,406	0
活動指標		ア	数	1,959.0	1,950.0	1,907.0			
対象指標		ア	数	1,959.0	1,950.0	1,907.0			
成果指標		ア	数						
上位成果指標		ア	数						

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年南アルプス市商工会事業費補助金交付要綱による
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	近年の経済事情や商工業者の後継者不足等の内部事情により廃業や縮小の傾向にある。今後についても悪化してことが予測される。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	商工会からは、事業に対して期待されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒【内容!】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	補助金の内容を確認すると、各事業内容に補助金を充当すべきかどうか疑問を感じる内容になっている。補助対象とすべき事業を精査していただきたいと提言をした。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	上記と同様

事務事業名	市商工会活動支援事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 市の商工業の振興である。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 市内商工業の活性化を図るため妥当である
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 市内の商工業者の振興及び育成事業であるため、維持・継続すべきである。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 経営改善事業や後継者対策事業などの取り組みを重点に実施することで成果の向上は期待できる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 商工会が行う事業は、南アルプス市の活性化になるため ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 商工会が行う事業は、南アルプス市の活性化になるため
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金については、事業ごとに精査し補助対象事業を細分化する。 若手経営者活動事業などについては、年間の負担金が高額であるため補助金の充当額をアップし、受講者の負担を減らすなど。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方・見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 商工会が実施する事業であるため。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 商工会の会員に対して広く周知しているため公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	商工支援を中核的に実行している商工会への支援は市内商工業の振興につながる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	④	コスト削減優先度評価結果	②																	
成果優先度評価結果	④																					
コスト削減優先度評価結果	②																					